

フォトニュース



▲めだかの赤ちゃんの観察
▶ペレットストーブの展示

町では、希少水生生物のメダカの生息環境を保全するために、メダカの里親制度の取り組みや、里山再生事業の一環として環境やからだに優しいペレットストーブの普及に努めています。6月の環境月間にあわせて同16日・17日に実施された「猪名川環境展」では、パネルとメダカの卵・幼魚・成魚の展示やペレットストーブなどの展示を行いました。



「猪名川環境展を開催」

「2012 いながわ桜まつり 写真コンテスト」

▼6月18日、同コンテストの表彰式が開催され、41点の応募作品の中から本紙1面に掲載の「町長賞」のほか次の4作品の入賞が決定しました。入賞作品は、今後、本町の観光PRに活用します。

▶「2012 いながわ桜まつり 運営委員会賞」
「くれゆく桜道」 広瀬哲雄さん



また、次回の桜まつりの開催にむけてPRする時には、応募作品全ての展示会を開催する予定です。



▲商工会会長賞
「満開」 池本泰博さん



▲松尾台校区まちづくり協議会賞
「夜桜」 教野洋子さん



▲観光協会会長賞
「満開の朝」 佐藤幸良さん

いな 歴史ウォーク 112

中谷村の成立②

「中谷村」の名称は、西谷村(現宝塚市)、東谷村(現川西市)の間に村域があることから付けられました。明治21(1888)年4月公布の市町村制では、戸数3百〜5百戸(国の基準)に、兵庫県では7百戸を目安に、町村規模を拡大するよう町村合併が進められ、翌22年に中谷村は6百戸余で発足したのです。



▲村会議案および成議録綴り

同21年9月に新村区域の原案ができた時、六瀬村所属となった槻並村と万善村は、六瀬村から中谷村へ所属変更希望を出しました。近世から明治13(1880)年までは紫合グループに属していたことなどが理由でしたが、認められませんでした。

などの「第二掛」と、「収税掛」「収入役」に分けられていました。村会議員の定数は人口に準じて12人となり、それまでの議員数に比べごく少数となりました。町村の国政への関与は認められず、条例の制定・改廃に関する議決の施行には内務大臣の許可が、また、規則の改廃には郡参事会の許可が必要となりました。

「2012長寿のまち猪名川健康フェア」



6月10日、「2012長寿のまち猪名川健康フェア」を開催しました。保健センターと社会福祉会館の両会場では、歯科検診やウォーキングイベント、土鍋で炊いたごはんの試食などに加え、坂本廣子さんによる講演

会も実施されました。延べ3800人の参加者は、楽しみながら健康チェックを行い、健康や食育について考える機会となりました。また、社会福祉会館では、「ふるさとお国自慢料理大会」が開催され、ニュータウンの住民を中心とした18組の応募者の中から、書類選考を突破した5組が腕を振るい、ふるさとの味を披露しました。

「ふるさとお国自慢料理大会」



来場者による試食会やレシピ(町ホームページ掲載)の配布も行われ、食を通じて参加者や来場者の交流が深まりました。

▼鏡に写る自分を、指の数で測りながら描きました。そっくりです?!
和田 陽菜さん(4年)



◀3年生から始まった習字です。とてもおのびのびと書けました。
藤田 咲花さん(3年)



◀クレパスでガクアジサイをかきました。花と葉のぬり方を工夫しました。
岩井 夢さん(2年)



六年 清水 天音

▲一画一画とても丁寧にバランスよく書くことができました。
清水 天音さん(6年)



大島小学校